



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団

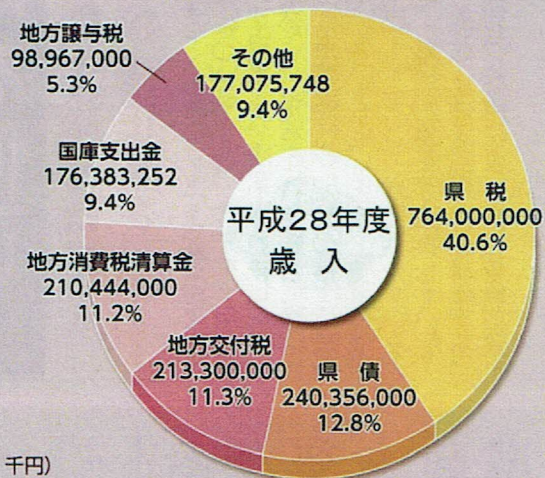


県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!

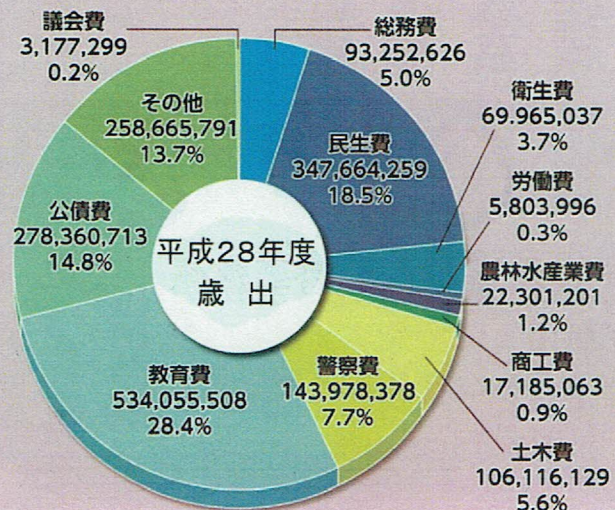


所属議員：野本陽一 樋口邦利 長峰宏芳 小谷野五雄 鈴木聖二 小島信昭 渋谷実 齊藤正明 鈴木弘 荒川岩雄 宮崎栄治郎 本木茂 小林哲也 田村琢実 高橋政雄 土屋恵一 岩崎宏 神尾高善 諸井真英 石井平夫 木下高志 中屋敷慎一 沢田力 伊藤雅俊 新井一徳 須賀敬史 星野光弘 中野英幸 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 山下勝矢 白土幸仁 柿沼トミ子 岡地優 荒木裕介 新井豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 板橋智之 永瀬秀樹 清水義憲 細田善則 神谷大輔 岡田静佳 杉島理一郎 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井明 宇田川幸夫 松澤正 (以上53名)

一般会計(当初)
1兆8,805億2,600万円
(前年比2.8%増)



(単位 千円)



早春の候、皆様にかかれましては健やかに過ごされたこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、統一地方選挙から早いで一年の月日が過ぎました。この間、我々自民党県議団は、団員一丸となって、県民の負託に応えるべく鋭意努力を重ねて参りました。地方創生の重要な施策の位置付けとなります「埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」は、昨年十二月定例会にて知事より提案がされました。しかし、内容を精査したところ、施策に対する目標達成に向けた不備や地域

別施策の欠如など、様々な改善や追加施策の必要性が見られたことから自民党県議団として修正案を提案させて頂き、今二月定例会にて可決・成立させて頂きました。

また、手話言語に関する要望やノーマライゼーション施策の推進のため、自民党県議団内にそれぞれのプロジェクト・チームを編成して、約一年に渡り調査・研究を進めて参りました。プロジェクト・チームにおける調査・研究の結果、手話が言語であるとの認識に基づき、共生することのできる社会の実現を目指す「埼玉県手話言語条例」及び、障害を理由とする差別の解消

等を推進する「埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例」を策定し、今定例会に提案。全会一致で可決・成立致しました。

更に、平成二十八年度一般会計予算における審議では、知事が2025年問題解決に向けた予算編成と謳っておりましたが、施策達成のためのロードマップ不足等、場当たり的な予算となっていることを指摘させて頂きました。しかし、県民生活への影響等に鑑み、予算の適切な執行を条件に原案に賛成致しました。

我々自民党県議団は、積極的に県民生活の向上のために様々な施策を通じ寄与していると自負しているところであり、これからも、県民要望を的確に捉え、綿密な調査・研究を行い、積極果敢に施策を推進して参ります。

今後も、自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団
団長 小谷野 五雄

埼玉私学の躍進へ!

自民党県議団私学振興懇話会にて要望!

父母負担軽減事業の更なる推進を実現!

埼玉県議会自由民主党議員団私学振興懇話会では、高等学校へ通う子供達が公私の差を感じることなく学べる体制整備を行って参りました。また、様々な私学運営に於ける施策について取り組んでおります。

これまで県平均高校授業料を年収500万円まで拡充し、施設費等その他の納付について県内平均額を年収350万円まで県単独補助として拡充してまいりました。

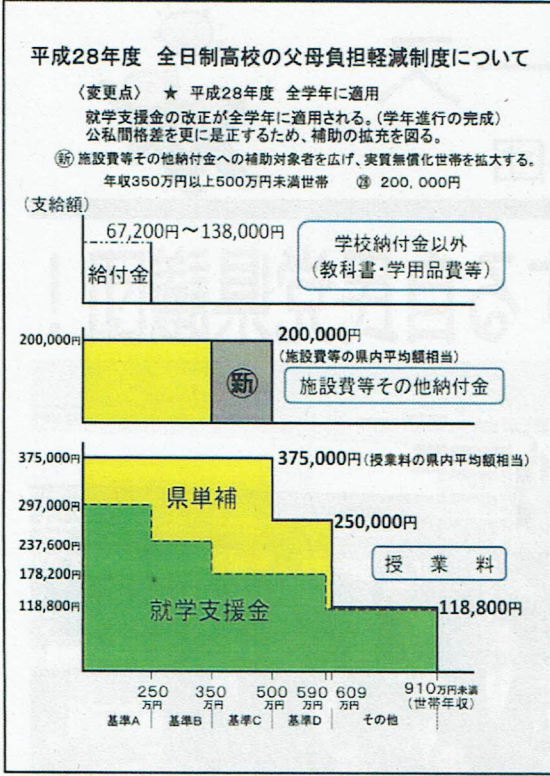
しかし、公立高校との比較でみると私学へ通う学生への総合的補助率は比べ物にならず、私学の果たす役割を十分に鑑みると更なる充実が必要であることと。また、所得と学力との問題が指摘されていることも考慮する必要があります。

そこで、当懇話会では県単独補助にて、年収500万円以下の世帯でも十分私学を選択肢として選べるよう施設費等その他の納付予算を拡充致しました。

また、昨今の幼稚園を取り巻く環境の変化により、適切な予算措置を行う必要性から、耐震改修事業補助完了に伴う減額された予算を振り替えることにより、運営費補助、特別支援教育費補助、預かり保育推進事業補助を増額致しました。



予算編成に於ける具体的施策を県執行部に要望



埼玉版総合戦略を修正!

埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略を

自民党県議団が修正案を示す!



特別委員会に於ける審査の様子

「埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について」は、昨年十二月定例会において知事より提案されました。しかしながら、提案された総合戦略には、具体的な施策遂行のための責任が明確にされていないこと。また、施策達成するためのロードマップが不足していること。更に、地域別施策が充実していないこと等、多岐に渡る問題点が存在するため、自民党の発議により継続審査と致しました。

この間、自民党県議団では総合戦略を検討するためのプロジェクト・チームを立ち上げ、問題点の整理・施策の充実を図り、修正案を今定例会に提案致しました。充実した総合戦略は、多くの賛同を得て、可決・成立致しました。

議員政策条例を2本制定!



プロジェクト・チームに於ける検討の様子

自民党県議団では、プロジェクト・チームを立ち上げ、手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及に関し、基本理念を定め、県等の責務及び役割を明らかにするとともに、施策の推進に係る基本的事項を定めることにより、ろう者とうる者以外の者とうる者が共生することのできる地域社会を実現するための「手話言語条例」について。また、障害を理由とする差別の解消等推進に関し、基本理念を定め、県等の責務を明らかにし、施策の基本的事項を定めることにより、共生社会を実現するため「埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしている共生社会づくり条例」を調査・検討してまいりました。今定例会で提案し、可決・成立致しました。

川越の良識で県政を変える!

埼玉県議会議員

中野ひでゆき

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所：埼玉県川越市久保町5-3

電話：049-226-8888

ホームページ：http://h-nakano





中野ひでゆき

http://www.h-nakano.jp f https://www.facebook.com/nakano.hideyuki @HideNakano

未来への投資、に重点

平成29年度 予算が決まる!



埼玉県議会議員

中野 英幸

なかの ひでゆき

【所属委員会】

- 警察危機管理防災委員
- 自然再生・循環社会対策特別委員
- 図書室副委員長

- ◆1961年9月6日、川越生まれ、川越育ち(55歳)。日本大学中退
- ◆(社)川越青年会議所理事長、(社)日本JC 埼玉ブロック会長など歴任
- 2011年、県議会議員初当選(現・2期) 企画財政常任委員長など歴任
- 川越菓匠くらづくり本舗副社長
- 川越商工会議所常議員
- 川越商店街連合会副会長
- 喜多院不動通り商店街会長
- 川越市サッカー協会顧問
- 川越市柔道連盟顧問
- 城西川越高校PTA副会長
- 小畔川を守る会顧問
- 入間基地青年同友会顧問

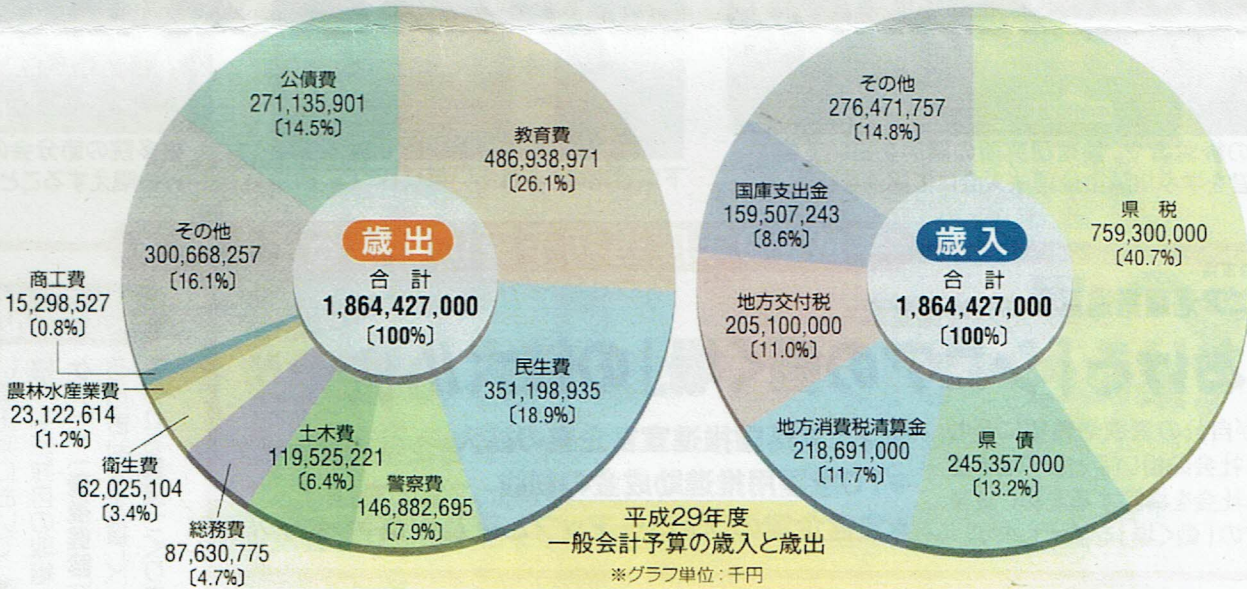
埼玉県議会 平成29年 2月定例会報告

「希望・活躍・うるおいの埼玉」へ!!

平成29年2月定例会は、2月20日から3月27日まで行われました。今回の「平成29年度埼玉県一般会計補正予算」は、高齢者の割合が全国一のスピードで増加し、生産年齢人口の減少が加速すると予想される中、中長期的な課題に取り組み、知恵を絞り工夫をして「未来への投資」に重点をおいた内容となっています。

新たな実効性のある少子化対策をはじめ、女性の活躍を進めるとともに、従来の生産年齢の概念に固執せず、シニアの社会参画を大きく拡げていく政策も盛り込まれました。

また、圏央道の全線開通により、本県は成田空港と直結。企業誘致とともに、「先端産業創造プロジェクト」を加速させ、産業や企業の集積をはかり、農業分野においても、首都圏という大消費地の中にある産地として、生産体制の強化や競争力のある「儲かる農業」を支援する体制を構築していきます。その他、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた事業など、平成29年度の予算規模は、一般会計で、1兆8,644億2,700万円となりました。



私学助成 高等学校

実質無償化拡大!

年収約609万円 未満世帯まで

高等学校は全国トップレベルの父母負担軽減事業に!!

中野県議が理事を務める自民党私学懇話会が要望してきた私学助成が、さらに前進しました。

私立学校父母負担軽減事業補助により、高等学校に通う年収約609万円未満世帯まで、授業料の実質無償化を拡大し、年収約500万円未満世帯までに対しては施設費等の補助も実施し実質無償化を継続します。年収約250万

円未満世帯の教科書代や学用品費等の学習費を軽減するため、給付支給額を84,000円に増額。また、幼稚園の家計急変世帯の実質無償化や、専修学校生の低所得者世帯への授業料負担軽減も継続されます。

さらに、新規事業として国の事業を活用し、年収約400万円未満世帯に対する授業料の補助(10万円)を新設す

るとともに、実態把握のための調査も実施されます。



中野ひでゆき 一県内外の現場を走る!

体験型研修施設による運転技能・知識の向上!!



自動車安全運転センター安全運転中央研修所は、わが国唯一の総合的な自動車安全運転教育施設。県民への交通安全指導や警察車両の運用管理を行う上で重要となる。

最新の科学技術を用いた防災研究を視察!!



国立研究開発法人防災科学技術研究所は、防災科学技術の向上による災害に強い社会の実現を目指し、様々な自然災害に関する研究を行う機関である。本県においても災害対応力の強化は重要な課題である。写真は大型降雨実験施設の視察。

警察危機管理
防災委員会

NEXCO東日本の管制センターを視察!!



関東甲信越地域(1都7県)の高速道路1,345kmを集中管理し、全国最多の道路事象を取扱う岩槻道路管制センター。情報提供の高度化や首都直下地震等の大規模災害時にも耐えうる構造などを視察。

都市ガス防災対策の具体的な取り組みを学ぶ!!



ライフラインとして大切な都市ガス。その安全対策、危機管理、東日本大震災での対応等について視察。

環境負荷低減に取り組む企業と施設を視察!!



大型バイオマス発電機や、高効率コージェネレーションシステムを導入し、原料となる段ボール古紙を98%リサイクル活用しているレンゴー(株)八潮工場を視察。

自然再生・循環社会対策特別委員会



国内初の水素普及啓発施設「水素情報館東京スイソル」を視察。埼玉県も「スマート水素ステーション」を設置。燃料電池車の取組みを行っている。

発達障害者支援の取り組みを視察!!



川越市にある埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」を視察。支援のあり方など意見交換を行う。

福祉保健医療
常任委員会

地域を走る!!



企業の経営者や、倫理研究所の講師を招いて倫理経営を学ぶ川越市倫理法人会にて講演を行う。



下広谷南の「ふれあい祭り」にてご挨拶



喜多院の節分会の特徴は、豆をまく際に「福は内」とだけお唱えすること。皆様の安全・所願成就をご祈願。

平成29年度当初予算における主な施策

埼玉県 シニア活躍推進宣言

企業における「シニアの働く場」の拡大!!

元氣なシニアが自分の意欲や希望に合わせて働き、共に社会の担い手として生き生きと活躍できる社会を構築するため、企業におけるシニアの「働く場」を拡大します。

- シニア活躍推進宣言企業の拡大
- 70歳雇用推進助成金の創設
- 宣言企業のフォローアップと普及促進(ハンドブック)

駅ホームの転落防止対策の推進!!

駅ホームからの転落事故の防止をはかるため、ホームドア設置のモデル事業を実施するとともに、各鉄道事業者の計画的なホームドア設置を促進するための補助制度を新たに創設します。

中野ひでゆき県議は、平成26年12月定例会で早期のホームドア設置を訴えていました。



ホームドア(和光市駅の例)



内方線付き点字ブロック



声かけサポートハンドブック

視覚障害者の方がホームの内側を確認できるもの

オリンピック・パラリンピックに向けた道路標識の改善!!

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて増加が予想される外国人旅行者が安心して円滑に移動できるよう、競技会場周辺やこれにアクセスする路線において、英語表記改善、ピクトグラムや反転文字を活用した道路案内標識等の改善を行います。

(英語表記改善・ピクトグラム・反転文字の活用)



ピクトグラム+反転文字

(英語表記改善)



市役所入口

埼玉版ネウボラの推進

妊娠・出産・育児の様々な相談にワンストップで応じ、妊娠前から子育て期にわたるまで切れ目のない支援体制を担う「子育て世代包括支援センター」(埼玉版ネウボラ)の全県展開をはかります。また、核家族世帯の割合が高い埼玉県において、孤立化しやすい産婦へ本県独自の取組として「産後うつケア」や「産後健診」を推進できるよう市町村を支援し、安心して産み育てられる環境づくりを進めます。

妊娠・出産・育児の
相談をワンストップで!!

子育て世代包括支援センター

～妊娠から子育てまで もれなくキャッチ～



保健師・助産師
ソーシャルワーカー

産後
3か月頃までを
手厚く支援

産後健診推進事業 産後うつケア推進事業

県の【川越市域】の取り組み

平成29年度当初予算の県による川越市内の主な事業をご紹介します。

- 1・2 川越日高線(新琵琶橋)橋りょう架換事業
- 3・4 川越北環状線街路整備
- 5・6 中央通り線街路整備
- 7 川越北環状線舗装道整備
- 8 川越越生線舗装道整備
- 9 川越所沢線舗装道整備
- 10 川越栗橋線舗装道整備
- 11 国道254号舗装道整備
- 12 川越狭山自転車道線舗装道整備
- 13 片柳川越線舗装道整備
- 14 川越日高線舗装道整備
- 15 川越栗橋線交差点整備
- 16 川越所沢線交差点整備
- 17 国道254号(川越線高架橋)橋りょう修繕
- 18 川越栗橋線(釘無橋取付高架橋)橋りょう修繕
- 19 川越日高線(三日月橋)橋りょう修繕
- 20 川越坂戸毛呂山線(八幡橋)橋りょう修繕
- 21 国道254号(小仙波橋)橋りょう修繕
- 22 国道254号(城下歩道橋)橋りょう修繕
- 23 川越日高線(久保町歩道橋)橋りょう修繕
- 24 川越日高線(初雁橋)橋りょう修繕
- 25 片柳川越線(とげ橋)橋りょう修繕
- 26 国道254号(落合橋)橋りょう修繕
- 27 川越新座線(九十橋)橋りょう修繕
- 28 霞ヶ関駅周辺歩道拡幅事業
- 29 笠幡駅周辺自転車歩行者道整備

- 30 川越日高線交差点整備
- 31 九十川(堤防機能強化対策)河川改修
- 32 九十川(九十川排水機場)ポンプ整備
- 33 新河岸川(寺尾調整池)導水路の整備
- 34 新河岸川親水施設整備(川の国埼玉はつらつプロジェクト推進)
- 35 新河岸川(護岸等の機能復旧)河川改修
- 36 新河岸川(堆積土砂撤去)河川改修
- 37 川越公園施設整備(スライダープール階段改修長寿命化対策)

川の国埼玉はつらつプロジェクト(農業用水)古川排水路地区



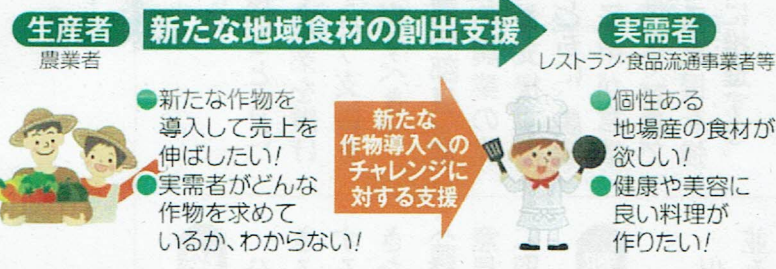
川の国埼玉はつらつプロジェクトの推進【新河岸川】
川の魅力を実感できる「川の国埼玉」の実現をめざし、地方創生に係る総合戦略や観光振興などの取り組みと連携した水辺づくりを推進するため、「新河岸川」の親水施設の整備を行います。

中野ひでゆき—農林水産業の振興を推進!

平成29年度当初予算における農業関連事業

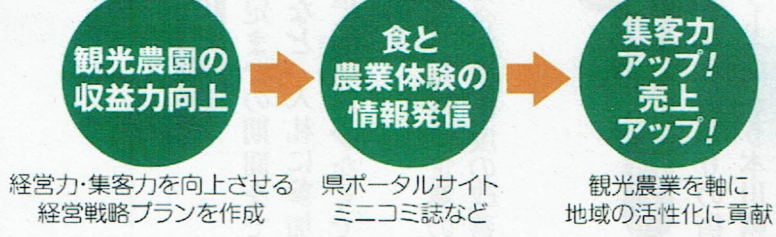
新たな農産物需要創出支援事業

農業者、流通業者、飲食業者等が連携して取り組む「地域食材や新たな作物を生かしたニッチなフード・ビジネス」を構築し、県産農林水産物の新たな需要を創出するため、県が関係者のマッチングや農産物生産の技術サポートを行い、新たな作物導入へのチャレンジに対する支援を行います。



儲かる観光農業支援事業

都市住民や増加している訪日外国人の食と農体験に対するニーズを捉え、県内観光農園等が経営戦略プランを作成し、経営力と集客力の向上をはかることで、儲かる観光農業を推進します。



農林水産業の振興には、担い手の育成確保、優良農地の確保、生産基盤の整備、生産・流通・販売等の体制整備、試験研究の推進など、幅広い範囲にわたる取組を最



農林水産業振興条例を制定
農林漁業の振興施策を総合的かつ計画的に推進!!
生産者の減少や高齢化など本県の農林水産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあることから、自民党議員団では、プロジェクトチームを立ち上げ、県内の先進的な事業を視察し、また、生産者や関係団体の方々の意見交換を行い、様々な施策を体系的に推進するための核となる「埼玉県農林水産業振興条例」について検討してまいりました。
農林水産業の振興には、担い手の育成確保、優良農地の確保、生産基盤の整備、生産・流通・販売等の体制整備、試験研究の推進など、幅広い範囲にわたる取組を最優先で進めて行くことが必要です。この条例は、基本理念に加え、県の責務並びに農林漁業者等及び県民の役割を明らかにするとともに、農林水産業の振興に関し必要な事項を定め、その施策を総合的かつ計画的に推進し、農林水産業の持続的発展及び県民の豊かな生活の向上に寄与することを目的としています。

現場の声で論戦!!

積極的な空き店舗対策を!!

商業振興について

中野ひでゆき県議は、平成28年12月定例会において、12月13日に一般質問を行い現在の課題について現地視察や現場の声を踏まえた論戦を展開しました。その主な内容をご報告します。

空き店舗を有効に利用するためには、商店街が自分たちのエリア全体をマネジメントして、特徴ある商店街づくりを行う発想が大切。商店街自身が描いた将来像を県が後押しをし、積極的な空き店舗対策に取り組むべき。

〈産業労働部長〉若手商業者を対象としたリーダー養成講座を実施。また、空き店舗対策の成功モデルを積極的に取り入れて支援体制を充実させ、対策をしっかりと後押ししていく。

労働行政について

①労働基準法改正の方向について

労働基準法改正案が可決されれば、ワークライフバランスなど、短時間労働や早出・残業時間を抑制するための新たな働き方が必要になるが、中小企業におけるさまざまな問題を踏まえ、労働基準法改正の方向について。

〈産業労働部長〉事業運営を担う労働者の健康確保は重要であり、改正案の方向は望ましいものと考えます。

②中小企業の労働力確保について

同一労働・同一賃金の実施された場合、大企業への人材集中が加速し、中小企業では必要な人材の確保が非常に難しくなるが、規制と緩和による中小企業の労働力確保について。

〈産業労働部長〉「働き方改革」に関する国の動向を注視し、中小企業の労働力確保に対する影響や必要な対応策について検討する。

③中小企業の支援について

労働環境改善と使用者の負担軽減など、県独自に中小企業の実情を踏まえた提案や支援を推進する意思は。

〈産業労働部長〉労働環境の改善などに取り組む中小企業をしっかりと支援していく。

公共交通ネットワークについて

川越線の複線化をはじめ、多摩モノレール、八高線、埼京線の相互乗り入れによる首都圏30キロ圏の環状線鉄道網整備を促進する必要がある。

〈企画財政部長〉都心からの放射状の路線と県内を横に結ぶ環状路線との結節を強化する上でも川越線の複線化は重要。高齢化の進展などに対応して、鉄道駅や市街地などを核とした地域の生活の足について確保充実し、利便性の向上を図る視点も必要。

就農支援について

新規就農希望者の支援とともに、農家の子弟が意欲を持って農業を継げるよう支援を充実すべき。



雨の中農家の現状を視察

戦没者追悼事業について

埼玉県遺族連合会にも青年部が発足し、遺族の意思を継承していくための新たな一歩を踏み出した。埼玉県戦没者追悼式は平日開催で、会社勤めの方々など出席が非常に困難である。土日開催にできないか。また、遺族連合会ではひ孫世代への継承を目的として、小学校高学年から中学校3年生までの青少年を対象に、夏休みの期間を利用して沖縄・埼玉の塔慰霊青年派遣事業を来年から実施する予定である。戦争の悲惨さや遺族という意識を再認する機会となり、参加費用等の補助ができないのか。

〈福祉部長〉遺族連合会や市町村などと意見交換を行い、土日の開催など御遺族の参列しやすい追悼式について検討する。また、青少年派遣事業の支援についても検討していく。

総合評価制度について

公告から落札決定までの期間をできる限り短縮するなど、入札に参加する建設企業の負担をもっと少なくできないか。

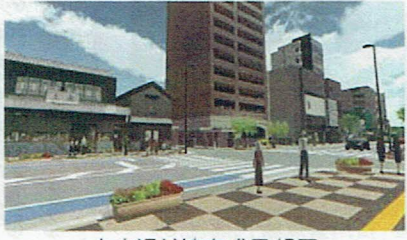
〈県土整備部長〉今後とも建設企業の意見を聞きながら総合評価制度の改善に取り組んでいく。

都市計画道路

中央通り線について

川越観光の玄関となる蔵造りの街並みなど、観光スポットへ向かう本川越駅から連雀町交差点までの拡幅事業の進捗状況と今後の見通しについて。

〈県土整備部長〉歩道の拡幅にあわせて電線類の地中化により電柱を無くし、歩行者が安全で快適に歩ける空間を整備。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催までには事業を完了させる予定。



中央通り線完成予想図

県道川越所沢線新宿三丁目交差点の整備について

新宿三丁目交差点の交通渋滞緩和に向けての交差点整備事業の進捗状況と今後の見通しについて。

〈県土整備部長〉西側区間の用地買収が完了し、暫定的に右折帯を設置。引き続き用地買収を進め、歩道整備の早期完成に努めていく。



新宿3丁目交差点を視察

ユネスコの「山鉾屋台行事無形文化遺産登録」決定を「埼玉プラチナルート」など観光振興に活かすべき!!

観光振興について

①埼玉プラチナルートの確立について

ユネスコは山鉾屋台行事を無形文化遺産登録を決定した。本県からは、川越の氷川祭の山車行事と秩父夜祭の屋台行事と神楽の2つがある。「埼玉プラチナルート」の起点である川越市と終点となる秩父市の観光基盤を整備するため、ハード事業を含めた幅のある提案型の補助制度を創設しては。

〈産業労働部長〉

登録決定は、国内外から多くの観光客を呼び込むチャンスである。外国人観光客を受け入れるには、多言語対応の観光案内所の設置やトイレの洋式化など、

〈企画財政部長〉金利動向を十分に注視しながら、引き続き資金調達コストをできる限り抑えるよう努めていく。

低金利環境を活かした

資金調達について

早急に将来の公債費抑制に向けた取組を行う必要がある。資金調達方法の更なる工夫を凝らすべき。



川越氷川祭の山車行事(川越まつり)に出席